

2021 年度 教育 研究 活動 報告 用 紙 (様式 9)

氏名	大嶋 満須美	職名	学位	修士 (健康福祉学) 山口県立大学
----	--------	----	----	-------------------

研 究 分 野	研究内容のキーワード
成人慢性期看護 看護管理	慢性期、家族、ゆらぎ、受容過程 組織、人材育成

研 究 課 題
慢性疾患を抱えた患者・家族の揺らぎと受容過程 看護教育

担 当 授 業 科 目
成人看護学概論 (前期) 成人看護学演習 (前期) 緩和・がん看護 (前期) 保健福祉学入門 (前期) 成人慢性期看護方法論 (後期) 成人慢性期看護学実習 (通年) 看護総合実習 (通年) 看護総合演習 (通年) 看護学特論 (後期) 看護研究演習 (後期))

授業を行う上で工夫した事項 (※ 助手については、実習・演習等の指導を行う上で工夫した事項)
授業科目名【 成人看護学概論 】 成人期の位置づけを明確化し、成人看護の対象は地域社会で暮らす生活者であり健康の側面から理解できるように、統計資料等を用いて教授した。青年期にある学生が自身の成長発達と関連づけながら理解が出来るよう意識化を図った。学生の主体性や共同学習の観点から、グループワークや発表を交え授業を構成した。また、学生の意見には毎回フィードバックに努めた。
授業科目名【 緩和・がん看護学 】 がん治療や緩和ケアに関する最近の動向を把握し、看護の専門性と役割拡大を踏まえ解説した。自己決定を主体とした個別化医療も進む中、「がん」の罹患による健康障害と患者・家族が歩む治療過程を事例や教材を紹介し具体的に解説した。この科目は看護者の健康観や人間観そして「死生観」を育む重要な機会として捉え、人々の尊厳と QOL の視点を持ち、看護者がかかわることの意義について教授した。
授業科目名【 成人慢性期看護方法論 】 系統別看護の展開として、既習の知識、また導入の科目である成人看護学概論や基礎看護学実習の体験を基盤に、健康障害とアセスメントの視点、および看護について具体例を示しながら解説した。特に、形態機能や疾患と結び付けながら、エビデンスに基づいた対象への看護について教授した。授業は遠隔授業で行ったが、学生の既習の知識が看護実践に応用できるよう単元毎に確認を行い、次回に繋げた。
授業科目名【 成人看護学演習 】 成人看護学実習に臨む前段階として位置づけ、模擬患者による課題演習を基本とし、「看護過程」と「看護技術」を柱として展開した。グループワークと個人ワークを組み合わせ、学生の進行状況を確認しながら解説を行い、個別にも配慮しながら領域担当が全員で関わった。遠隔授業による困難感はあったが、演習終了後、課題や到達度について教員間で協議し、進捗状況や方向性について情報共有を行った。

授業科目名【 成人慢性期看護学実習 】 コロナ禍のため、作成した模擬患者事例を中心に、慢性疾患の病態理解と看護の方向性について学生の思考を確認しながら学内実習を行った。DVD などの視覚教材を使用しイメージ化を図るとともに、指導においては、アセスメントの視点を重要視し個別指導に時間をかけた。また多職種協働の機会を得るため、その実際について外部講師による遠隔講義を受け指導を頂いた。学生カンファレンスの場を通じ、看護実践について助言を行うとともに学びの共有を図った。実習終了後は個別面接を行い、自己の学習課題の明確化を図った。
授業科目名【 看護総合実習：成人慢性期・終末期 】 学生が課題とする自身のテーマに沿って実習計画を立案し、調整する等、看護職への将来展望を視野に入れ、学生の主体性と看護の洞察が深まることを意図した科目である。COVID-19 の影響により、実習時間や実習形態、および時期も変更し、臨地実習の機会を確保した。緩和ケア病棟での限られた条件の中で、メンバーと協力しながら「安楽」「生きる」「看護」などのキーワードを意識しスタッフと共に実践し、直接指導を受けた体験から、臨床におけるターミナルケアのあり方を深く学び、看護観を育むことが出来た。
授業科目名【 看護総合演習 】 看護総合実習前後の演習として位置づけられている科目である。学生が関心あるテーマや自己の課題について文献検索を踏まえ、課題に向き合い、主体的に取り組めるよう個別に関わった。思考の整理を行い、現象を概念化し、論文作成のプロセスを共有する中で看護観や死生観が深まるよう助言した。成果発表をはじめグループメンバーとの学びの共有により、新たな視点や看護の多様性について学修できた。
授業科目名【 看護学特論 】 4 年生後期の選択科目である。授業は各看護領域の教員によるオムニバス形式で行い看護学領域を超えて看護に対するニーズを解説し、現在の課題と看護政策、これからの看護の展望について投げかけ、考察を行った。看護を取り巻く社会環境が大きく変化する中で、看護の社会的意義についても考える機会とした。
授業科目名【 保健福祉学入門 】 履修学生は学部 3 学科(看護・福祉・栄養)の 1 年生である。社会の期待に応えるための保健・医療・福祉の専門性と多職種連携の意義を理解し、課題に対する認識を深め、学部入門編として自己の専門性との関連を学修できるよう構成されている。合同講義を通じ、専門性を深め、他領域を知り、理解することにより、より広く現象を捉えることを意図している。遠隔授業となったが、看護の社会的責務を伝え「他職種」との協働の必要性、および実践者として課題の明確化を図った。
授業科目名【 看護研究演習 】 既習の知識・技術・理論および臨地実習の経験をもとに自ら看護に関する研究テーマを設定する。また文献検討をはじめ一連の研究活動の基本を学ぶ選択科目である。本年度のゼミ生には履修選択者はいなかった。

学 会 に お け る 活 動		
所属学会等の名称	役職名等（任期）	加入時期
日本看護協会 日本家族看護学会		1975 年～ 現在 1997 年～ 現在

2021 年 度 研 究 業 績 等 に 関 す る 事 項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概 要
(著書)				
(学術論文)				
(翻訳)				
(学会発表)				

外部資金（科学研究費補助金等）導入状況（本学共同研究費を含む）			
（１） 共 同 研 究			
研 究 題 目	交付団体	研 究 者 ○代表者（ ）内は学外者	交付決定額 (単位：円)

外部資金（科学研究費補助金等）導入状況（本学共同研究費を含む）			
（２） 個 人 研 究			
研 究 題 目	交付団体	交付決定額 (単位：円)	備 考

社 会 に お け る 活 動 等		
団体・委員会等の名称 (内 容)	役 職 名 等	任 期 間 等
一般財団法人 佐波共済会	評議員	2017 年 5 月～ 現在
福岡県看護協会	地区支部 施設会員代表者	2018 年 4 月～ 現在
日本私立看護系大学協議会	施設代表者	2018 年 4 月～ 現在
日本看護系大学協議会	施設代表者	2018 年 4 月～ 現在

学 内 に お け る 活 動 等（役職、委員、学生支援など）	
・看護学科 学科長 (2018 年 4 月～ 現在) 運営会議、入学試験会議、点検評価改善会議、教授会、学生総合支援室会議の構成員 学科会議議長 学科運営・人事にかかわる事項 ・看護キャリア支援センター長 (2018 年 4 月～ 現在) 看護キャリアセンター運営にかかわる事項 認定看護管理者教育課程 講師 ファーストレベル講師 (2021 年 6 月 26 日) 認定教育課程検討委員長 (2018 年 4 月～現在) 認定教育課程運営委員長 (2018 年 4 月～現在) ・高大連携 講義 (2021 年 11 月 16 日)	